

平成29年度 清瀬市生活安全対策協議会 会議録（要旨）

日 時 平成30年2月27日（火）14時00分から

場 所 中清戸地域センター 2階 第2会議室

出席者 小寺会長、小寺委員、中島委員、宮澤委員、松村委員、尾崎委員
岸委員、新井委員、佐藤委員、松村委員
事務局 防災防犯課長、防災防犯課主任、防災防犯課防犯担当

会議次第

1 開 会

2 会長互選

3 自己紹介

4 議 事

安全・安心まちづくりの取組状況について

犯罪被害発生状況について

災害発生状況について

その他

5 閉 会

審議経過

1 開会

2 会長互選

3 委員自己紹介

4 議事

○安全・安心まちづくりの取組状況について

事務局より

- ・平成29年度安全・安心まちづくりの取組状況及び平成30年度安全・安心まちづくりの取組について、資料に沿って防犯パトロール、スクールパトロール等の実施内容及び実施予定を説明。

○犯罪被害発生状況について

委員より

- ・刑法犯認知件数については、年々減少傾向にある。
- ・刑法犯の約4割が、自転車盗である。
- ・特殊詐欺については、増加傾向にある。

3つの対策を実施

電話に出ない呼びかけ、市民の自宅を訪ね留守番電話設定を実施。

無人ATM対策として、市民の方々に携帯で話しながらATM操作を行っている高齢者への注意喚起のお願い。

コンビニエンスストアにお願い、高齢者が電子マネーカード等を購入する際の注意喚起。

○災害発生状況について

委員より

- ・平成29年中の東京消防庁管内の火災発生件数は4,205件。
- ・平成25年～平成29年の火災平均は4,523件
- ・都内の1日当たりの火災平均は11.5件
- ・平成29年の市内の火災発生件数は、21件 火災による死者1名
- ・東京都消防庁管内の救助件数について、平成29年は増加している。
- ・平成29年市内の救急隊の出場件数について、2,393件。

昨年より増加。

- ・市内の火災状況について

平成29年 総数21件 建物 12件 車両 3件 その他 6件

・平成29年市内の出火原因の状況

平成29年度 1位 タバコ 2位 ガステーブル等 4件

3位 放火、電気回線、火遊び 3件

・平成29年市内の救急状況について

救急件数 4,225件 3,819名

・平成29年の住宅火災の死者発生状況について

住宅火災での死者の発生状況は減少傾向にある。高齢者の割合は7割以上を占めている。

・清瀬消防署では、ホームページやメールマガジン等で市民に注意喚起を実施。春の火災予防運動では、一部の地域を訪問して注意喚起を実施予定。

○その他

事務局より

- ・自動通話録音機の貸与（65歳以上）を来年度も実施予定。
- ・防災行政無線での特殊詐欺の注意喚起を2月下旬から1カ月程（月・木）実施。
- ・水防訓練実施の案内。

○質疑

委員より

Q 防災行政無線での特殊詐欺の注意喚起広報時間は

事務局より

A 夕焼けこやけチャイムの直後に行っています。

委員より

Q 投資詐欺が発生したとあるが、どのような内容か。

委員より

A 通常の高齢者が騙されたのではなく、30歳代の会社経営者が被害に遭いました。

委員より

Q 救急隊の出場が他の地区からの応援が多いのは清瀬だけですか。

A 市内には、清瀬消防署に1隊しか救急隊がない、東久留米市などは、本

署と出張所に2隊の救急隊がある。こうしたことから、応援が多くなります。

・委員より

Q 救急隊が1回出動すると何時間かかりますか。

A いろいろなケースがある、傷病者の状況により、救急車に乗ってくれない場合などは説得が必要で時間かかる。また、病院の選定する時間もあります。

5 閉会

会長より

意見等がなければ、本日の会議は閉会させていただきます。

皆様、ありがとうございました。